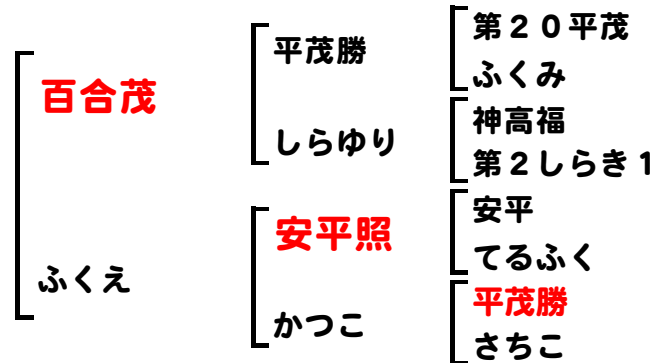


熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2016

ゆりてるしげ 黒毛和種種雄牛「百合照茂」の選抜



問 研究のねらいは？

答 全国に通用する優良な県産種雄牛の作出が期待されており、牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

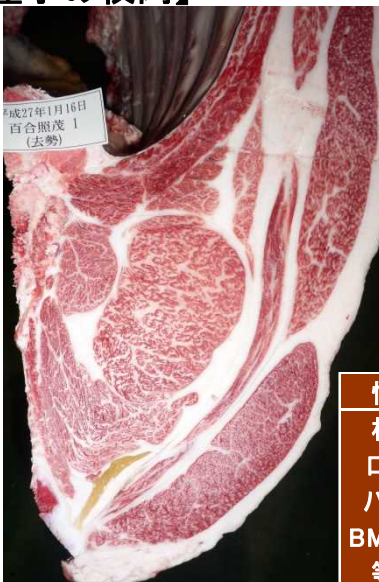
答 脂肪交雑やロース芯面積の大きさに優れた成績をもち、育種価における脂肪交雑の評価においては、本県基幹種雄牛である「平茂幸」を上回る能力をもつ種雄牛です。

【現場後代検定成績】

(単位: kg, cm², cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(5・4等級率)
去勢 9 頭	28.2	465.6	57.6	7.5	2.1	74.2	5.78	77.8% (9/14)
雌 11 頭	28.3	421.9	55.5	7.6	2.9	73.8	6.73	72.7% (6/11)

【産子の枝肉】



形質	程度	-1	0	1	2	3	程度	SBV
枝肉重量	小さい						大きい	0.05
ロース芯面積	小さい						大きい	0.77
バラの厚さ	薄い						厚い	0.53
皮下脂肪	厚い						薄い	-0.22
脂肪交雑	少ない						多い	1.77

標準化育種価 (SBV) とは？

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値
1を超えるとその特徴を持つといえる